

2022年2月3日

2022年
新年号

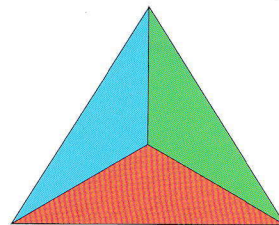
(一般社団法人) 三方會

(一般社団法人)三方會 IFSPK 2022年2月3日

会報 三方會

www.sanpookai.com

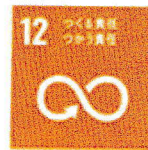
■三方會のSDGs



■産業と技術革新の
基盤をつくろう



■住み続けられる
町づくりを



■つくる責任
つかう責任

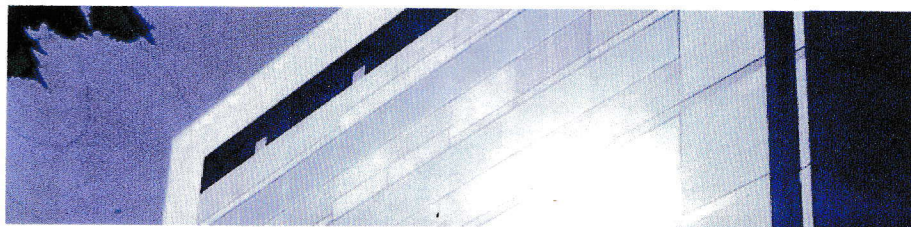
■渋谷栄一名言集より

- 事業には信用が第一である。世間の信用を得るには、世間を信用する事だ。個人も同じである。自分を信用せよとは虫のいい話だ。
- 個人がいかに富んでいても社会全体が貧乏であったら、その人の幸福は保証されない。その事業が個人を利するだけでなく、多数社会を利してゆくのであれば決して正しい商売とはいえない。
- 「智」「情」「意」の三者が均衡を保ち平等に発達したものが完全の常識だと考える。

会社紹介

事業内容

- 高強度繊維などを用いた各種補強材の製造販売
- 土木・建築構造物などに用いる補強材および関連製品の販売
- 土木・建築構造物などにおける補強構造の提案・検討
- 上記に関するエンジニアリングサービスなど



会社概要

商号	ファイベックス株式会社
本店	〒104-0033 東京都中央区新川一丁目16番3号 住友不動産茅場町ビル 6階 Tel 03-5579-8291 Fax 03-5579-8292
技術センター 栃木工場	〒322-0603 栃木県栃木市西方町本郷42番地6 Tel 0282-21-7508 Fax 0282-21-7509
設立	1992年（平成4年）6月1日
代表取締役	近藤 真一〔博士（工学）・技術士（建設部門）〕
加入団体	繊維補修補強協会（FiRst協会） アラミド補強研究会（事務局） KS協会（事務局） 二方向アラミドシート工法研究会 ハイゼラス工法研究会（事務局）

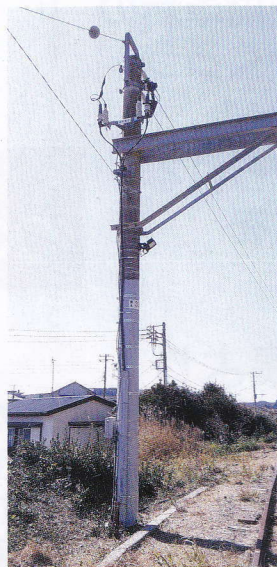
新技術

■Re工法■

- 再生 Revival (リヴァイバル)
- 補修 Repair (リペア)
- 補強 Reinforce (リーインフォース)



●コンクリート柱施工前



●コンクリート柱施工後



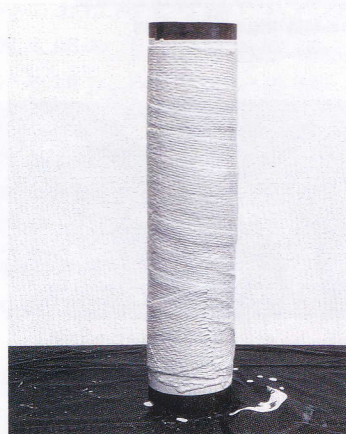
●木柱施工前



●木柱施工後



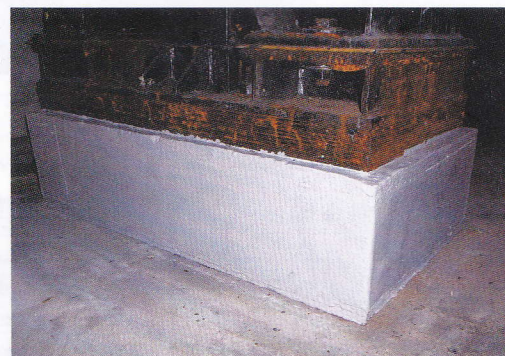
●鋼管柱施工前



●鋼管柱施工後



●ガス管架台施工前



●ガス管架台施工後

新素材

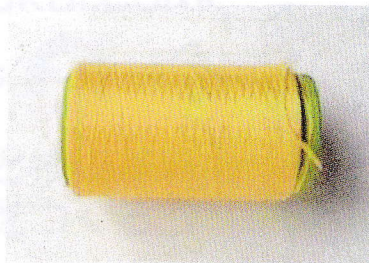
新商品

アラミド繊維は、高機能繊維の一種で 「スーパー繊維」「ハイテク繊維」と呼ばれています。

アラミド繊維は、1960年代に登場したスーパー繊維で、3大合成繊維の一つナイロンと同じポリアミド（アミド結合によってできたポリマー）です。しかし、ナイロンの脂肪族ポリアミドとは異なり、アラミド繊維の化学構造は芳香族ポリアミドです。

そこで、米連邦通商委員会（FTC）が、1974年にナイロンと区別してアラミド（aramid）という一般名を与え、1977年に国際標準機構（ISO）も人造繊維の分類名称としています。

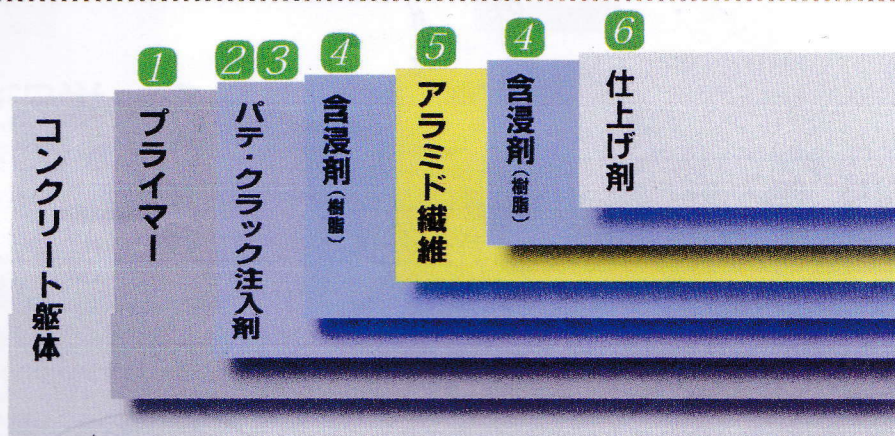
アラミド繊維は、多くの優れた特徴をもち、タイヤの補強材、光ケーブルの補強材、プリント基板、防弾チョッキなどと共に、建設分野でも幅広く用いられています。



■補強効果解説

アラミド繊維は鉄の7倍の引張強度を持ちます。その特長を生かすためには、コンクリートとアラミド繊維を可能な限り密着させる必要があります。当社で開発したエポキシ樹脂系含浸剤「タフロンAFコート」を使い、適切に施工することで、両者は強固に結びつき、コンクリート本体の耐力を飛躍的に向上させることができます。

右図：施工イメージ



■曲げ強さ試験

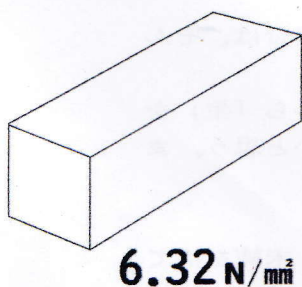
下図のように、4種の供試体（無鉄筋）で曲げ強さ試験を行った。

- A. = 無垢 B. = 切欠きを作ったもの（欠損のある躯体を再現）
- C. = 切欠きをパテで補修し、見かけ上無垢と同じ状態に戻したもの
- D. = パテ補修し、さらに AF コートを使用してアラミド繊維の巻付けを行ったもの

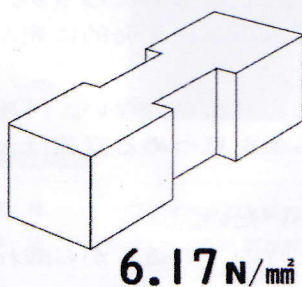
- 供試体サイズ：
100×400(mm)
- 数値：
破壊荷重(3本)の
平均値



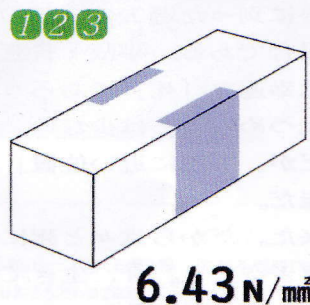
A. 無垢



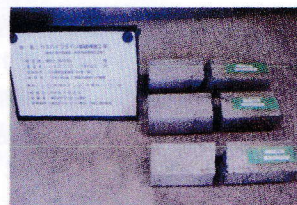
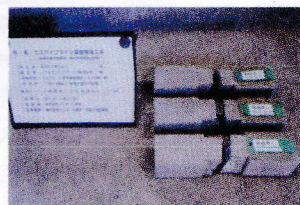
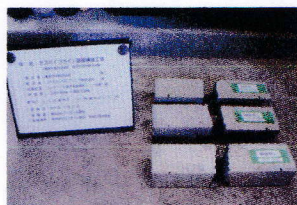
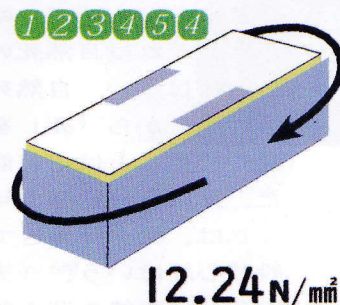
B. 切欠き有



C. パテ補修のみ



D. パテ補修+アラミド巻付



勸学文 朱熹作
 勿謂今日不_レ学而有_二来日_一
 勿謂今年不_レ学而有_二来年_一
 日月逝矣歲不_レ延我
 嗚呼老矣是誰之愆
 言_レはかれ 今日学ばずして来日ありと
 言_レはかれ 今年学ばずして来年ありと
 日月逝きぬ歳我を延ばさず
 嗚呼老_レどり 此_レ誰の愆ぞや

編集手帳

大澤 英次

心 経

人生100年時代だというのが、誰でもがという訳には行かない。八十台になって数年経つと、「死」は現実となって来る。

私の場合、般若心経の「無眼耳鼻舌身意」という言葉が身に沁みて来た。視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚・知覚の衰えが具体的に深刻化してきている。脳・骨・筋肉・内臓の衰えも具体化してくる。そうすると人生の終焉・臨終は近いことだろう。

「無から生じ、無へ帰って行く」その間の「人生を如何に生きて行くか」が人生論で問題視され、臨終とか、死後のことはあまり論じられない。

「臨終」については、山田風太郎の「人間臨終図鑑」があり、鷲田小弥太の「理想の逝き方」がある。当人も述べている通り「生きている側」からの観察で、死んだ人からの情報ではない。人生の終焉がどうであったかは、誰も知る由が無いのだ。

唯、臨終時から見た「生きることの意義」は在って然るべきだと思う。様々な苦楽を経て、臨終に到った過去の評価の良し悪しになるだろう。ただ、それは自然死の場合である。事故・自死・殺人など、突発的に死んだ場合は、そんな余裕はない。自然死は幸運な「死」であろう。

「生」から「死」を見つめることは少ない。また、意義が少ない。「死」から「生」を見つめることは不可能だが、「死に近い位置」から生を見つめる意義は大きいと思う。また、死に行く覚悟も可能だ。

私は、精一杯生きて来た。だから堂々と死に向かいたい。般若心経はいう、「五蘊皆空」と。今、生きて来た時の「五蘊」から離れて、未練を捨て、安らかに臨終を迎えたいと思っている。

生きて来た過程で、沢山の臨終に立ち会った。心臓病で苦悶の表情を浮かべていた人、末期に、癌の苦痛に苛まれながらなかなか死ねなかった人、独りきりでアパートの一室で、孤独に死んでいった人、老衰で、脈が手首・腋・首・聴診器と、次第に聞き取れなくなっていた人、・・・これを見ていてつくづく思うのは、「緩和ケア」の大切さである。死は避けられないのだから、せめて苦しめない処置だけは、確り施してもらいたいと思う。

近々、自分に訪れるであろう死について、私の「最後の望み」である。